



第60号  
 発行人  
 福井県剣道連盟  
 理事長 市橋和廣  
 事務局  
 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7  
 榎マルツ電波二の宮店 付属舎  
 TEL・FAX (0776) 28-6616  
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

ご挨拶



副会長  
岩崎 貞夫

この度副会長として重責を遂行させて頂くことになりました岩崎でございます。私ごときの実績の少ない者がお役に立てるかどうか不安一杯でございます。しかし、社会人として今日迄の私の人生には、青春時代に出会った剣道が大きく貢献し、剣道無くして現在の私は居ないと思っております。

小さいながら会社の経営者としての社員の教育、そして経営者としての対人関係を考えた時、いかに精神文化の優劣が大事であるか痛感しており、せめて自分の周辺だけでも躰、作法（礼節、礼儀）を中心にと考え、会社では子供に対しての親の背中の見せ方、郡の連盟では子供に対して剣道を通じての人間形成の重要

ご挨拶



副会長  
片山 外一

さを、私の体験を交えながら伝えております。又、そのことにより一人でも多くの人が元氣、やる氣、勇氣を備えて頂けたらと思っております。そしてこの事が土屋会長、事務局の方々にも多少の評価を受けこの度の役員としての推選を頂いたのではないかと考えております。頭書にも記した如く、社会人になってからの連盟への貢献が少ない者が大役を遂行させて頂くに当たり、御指導、御鞭撻を節にお願いし就任の御挨拶とさせていただきます。

この度土谷会長のご推挙により、県剣道連盟副会長を拝命いたしました片山外一と申します。本職は医師で、つくし野病院の院長を務めております。剣道との

お付き合いは高校剣道からで、当時斉藤敏夫先生にご指導を頂きました。大学は県外でしたが部活として続け、立派な指導者にも恵まれました。福井に帰ってからは時たま福井医大のメンバーとして、県の実業団の試合に出たりして西川信義先生のご指導を受け、息子も少年剣道教室で相模利朗先生にお世話になりました。

このように振り返りますと私の人生は剣道というスポーツから大きな影響を受けたこと、そしてそれが多くの先生方のご指導によるものであったことに改めて気づかされた次第であります。

剣道連盟の仕事は初めてですが、先日の専門委員会合同会議に出席したところ、先生方の剣道に対する真摯な情熱が伝わってきました。諸事多難であるとは伺いましたが一致団結して当れば先行きは明るいと思えます。浅学非才の身ではありますが、会長を盛りたて剣道連盟の発展のために尽くしたいと思っておりますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶



副会長  
相模 利朗

福井県剣道連盟は、二巡回の国体を見据えて長期構想を立ち上げ、前に進んでいるところであります。その重要な時期に、副会長という大役を任じられ、大きな責任を痛感いたしております。

現状の問題点は、剣道人口の拡大、選手強化、それに伴う指導力・審判力の向上を図ることであり、その目的達成には、職域・地域を超えて、会員が一丸となることが必要であります。さらに、各専門委員会の委員の方々の更なるご活躍をお願い申し上げます。私も微力ではございますが、尽力させて頂く所存でございます。

最後に我が福井県剣道連盟が益々元氣になりますよう、次世代の剣士たちに夢や希望を与えられるよう、そして活力あふれる組織となりますよう祈念いたします。



### 信頼される

### 指導者を目指して

#### 二十年度剣道中央講習会伝達講習会

五月十八日(日)

於 県立武道館

新緑が美しい五月。県剣道連盟では、県内の剣道指導者を対象に、「中央講習会伝達講習会」を開催しました。これは全日本剣道連盟が行う中央講習会に参加した先生方を講師に、正しい審判法や指導法および剣道形について学んでいたことが毎年行っているものです。今年も、各地区剣道連盟や団体、警察、学校、少年剣道関係者などから、例年になく一



○名という多数の参加をいただきました。最初に、県剣道連盟の市橋理事長が「平成二十四年から予定されている中学校での武道の必修化を控え、これまで以上に信頼される剣道・信頼される先生となることがとても大切。そのことが剣道人口の拡大にもつながります。今日の講習を意義深いものとしてください」とあいさつ。続いて、相模利朗先生、堀江範雄先生、山本英俊先生を講師に、講習がスタートしました。

まずは、審判法について、実際に「剣道試合・審判規則」「同細則」などを読み進めながら、有効打突とは何か、つばぜり合いとはどういう状態か、ということを確認したほか、高校生の試合でのルー

ル改正などについて解説がありました。中でも、有効打突、いわゆる「一本」の判断については、これまでの経験に頼るのではなく、刃筋や残心など、具体的理由を明確にすることが大事であり、そのことが一般の方にも分かりやすく、また信頼される剣道につながるということでした。また、試合では、選手だけでなく、「審判も常に見られている」審査さう指導がありました。

次に、三人一組になり、模擬試合の中で実際に審判を行いながら、位置取りや旗の表示などについて学びました。いざやってみると、なかなか講習のとおりにできていないと気づくことが多く、その



たびに、相模先生や堀江先生、山本先生が試合を止め、問題点について分かりやすく指導を行い、受講生からも質問が多く出されました。「できるだけ近くで見ろ」「今までのやり方を変えるつもりで」。先生の言葉が印象に残りました。

午後からは、相模先生から昇段審査についての話をいただきました。合格の秘訣はこれだ！というものはありませんが、日頃の稽古から立会いを意識しながら取り組むことが大事だということでした。立会いが始まる前から気持ちを高め、十分な気位を持つておのずと合格に結びつくということもお話されました。

六段・七段の公開模擬審査では、十数名の希望者が立会いを行い、相模先生、西川譲先生、堀江先生、山本先生から助言をいただきました。その後、受講生同士で審査のつもりで稽古を行いました。終了後には、どの受講生も充実した様子で何かをつかんだ伝達講習会でした。なお、この伝達講習会は、九月二十一日に敦賀市でも開催予定です。詳しくは、県剣道連盟までお問合せください。

(広報委員会 北林)



試合結果

第五十六回 全国都道府県

対抗剣道優勝大会

平成二十年四月二十九日  
於 大阪市中央体育館

1回戦

愛媛県 1 対 2 福井県  
 先鋒 中川 × 山田  
 次鋒 田邊(僚) | 西川  
 五将 山崎 | 高嶋  
 中堅 豊水 × 道内  
 三将 近藤 × 西  
 副将 田邊(智) ⊗ × メ 畑  
 大将 新谷 ⊙ | 堀江

2回戦

岡山県 3 対 2 福井県  
 先鋒 坪田 ⊗ × メ | 山田  
 次鋒 伊原 ⊗ | 西川  
 五将 忠政 | ⊗ 高嶋  
 中堅 佐々木 ⊗ | 道内  
 三将 楠本 × | 西  
 副将 高橋 コーコ ⊙ 畑  
 大将 竹内 × 堀江

本大会には、二月の県内予選会の各部門で優勝した選手が出場しました。選手たちは、二月の選手決定後、目標をベス

ト8進出に設定し、この大会に向け強化稽古に励んできました。

第1回戦は、愛媛県との試合でした。先鋒の山田選手は、落ち着いた試合運びで引き分けとし、次鋒につなぎました。

次鋒の西川選手は気迫充分の攻めを展開し面の一本勝ちで勝利すると、五将高嶋選手は中盤素晴らしい真面を繰り出し一本勝ちを収めました。中堅道内選手、三将西選手、副将畑選手は、前の2勝を手堅く守り全く危なげの無い試合運びで引き分けして勝利を確定しました。大将堀江選手は、勝負が決して気が抜けたのか、不用意に手元を上げたことに小手を打たれて一本負けを喫してしまいましたが、チームは2回戦に進出しました。

2回戦は強豪岡山県です。先鋒の山田選手は、世界選手権代表の坪田選手に果敢に挑み惜しい小手がありました。フェイントをかけタイミングずらして打ってくる坪田選手の担ぎ面を受けきれず2本負けとなりました。山田選手は、子供さんが病気で入院のため最後の調整が充分できなかったことが残念でした。調整が上手く行っていれば小手で勝利できたのではと思われる試合内容でした。先鋒の二本負けを受けて次鋒西川選手は、取り返そうと果敢に攻めていきました。実力的には西川選手のほうが上のように見えました。何とか一本取ろうと終盤強引に突きを出したところを抜くように面

を打たれ一本負けを喫してしまいました。例年ならここからズルズルと負けてしまふような試合展開になるところですが、五将高嶋選手が、窮地を救う素晴らしい面一本勝ちを収め、希望を繋ぎました。中堅道内選手は、粘り強い試合運びで引き分けかなと思われた終盤5秒くらいのところで、ライン際でつば競り合いを解消した瞬間に面を打たれ一本負けとなつてしまいました。相手が頭を下げて別れの合図を送ってきたために、後ろが無いところで下がってしまったのが打たれた原因と思われる残念でした。副将西選手は、勝負をかけ足を使って技を出し、得意の面に審判の旗が一人挙がる場面もありましたが、引き分けとなつてしまいました。



副将畑選手は、この日は慎重な試合運びが印象的でした。中盤相手が手元を上げてくるころに出端小手で一本取りました。二本目は畑選手が面に行くところを逆に一本目と同じように出端小手を相手に打たれてしまいましたが、勝負の三本目は打ち合いから見事な出端小手を取り勝利しました。大将堀江選手が二本勝ちすれば代表戦となるころでしたが、相手の大将は何か引き分けにしようとして逃げまくり、堀江選手は攻めまくりましたが時間切れとなり三対二で本県チームの敗退が決まりました。

この大会を振り返って見ますと、本県チームは全国大会ベスト8以上を狙える力がついてきたと思います。他の強豪県と比べても見劣りしない試合ができるようになったことを実感できましたし、全員よく頑張ってくれたと思います。あとは、チームでの試合運び方の仕方を身につけるとベスト4入りも夢で無いと思います。

監督としての反省は、誰が勝負して勝ちに行き、誰が慎重に試合して引き分けてくるのか、負ける場合でも一本負けで止めて、後の選手の負担をできるだけ軽くする等のチーム戦略を徹底できなかったことだと思います。

(西川 譲記)



### 平成二十年度 春季総合 体育大会 剣道競技大会

平成二十年六月六日(金)～八日  
福井県立武道館

六月六日(金)より県立武道館において三年生にとっては現役最後となる春季総体が開催されました。女子団体では、決勝リーグの接戦を制した美方高校が、男子団体では決勝リーグ三戦全勝で敦賀高校がそれぞれ優勝を決め、八月に埼玉県で開催されるインターハイへの切符を手にしました。

また、男子個人戦では丸岡高校の金子亮介選手が、女子個人戦では美方高校の村上夏生選手がそれぞれ優勝の栄冠に輝きました。

#### ▼試合結果

##### 【男子団体】

2回戦

○敦	賀2-0若	狭△
○丸	岡2-1藤	島△
○福	井2-0敦賀気比	△
△福井高専	0-4啓	新○
○高	志4-0金	津△
○科	技3-1丹	生△
△福	農0-5武	生○
○北	陸2-1美	方△

#### 準々決勝

○敦	賀2-2丸	岡△
(本数勝ち)		
○啓	新2-1福	井△
○高	志4-0科	技△
○北	陸1-1武	生△

#### (代表戦)

#### 決勝リーグ

○敦	賀3-1北	陸△
○敦	賀2-2高	志△
(本数勝ち)		
○敦	賀3-1啓	新△
△北	陸2-2高	志○
(本数勝ち)		
△北	陸0-3啓	新○
○啓	新3-2高	志△

優勝	敦賀高校	2位	啓新高校
3位	高志高校	4位	北陸高校



#### 【女子団体】



#### 2回戦

○北	陸2-0藤	島△
○啓	新2-1高	志△
○武	生2-1金	津△
○丸	岡1-0若	狭△
○敦	賀3-1敦賀気比	△
○福	井5-0科	技△
○羽	水2-0福	農△
△武生	東1-4美	方○
準々決勝		
○北	陸2-0啓	新△
○丸	岡2-2武	生△
(本数勝ち)		
○敦	賀2-2福	井△
(本数勝ち)		
○美	方5-0羽	水△

#### 決勝リーグ

△北	陸1-3美	方○	
△北	陸4-0敦	賀○	
△丸	岡2-2丸	岡□	
△美	方1-2敦	賀○	
○美	方3-2丸	岡△	
□丸	岡2-2敦	賀□	
優勝	美方高校	2位	北陸高校
3位	敦賀高校	4位	丸岡高校

#### 【個人戦】

(男子)	優勝	金子 亮介(丸岡)
	2位	小堀 翔太(美方)
	3位	小谷 佳己(敦賀)
	4位	田上 佑磨(美方)
(女子)	優勝	村上 夏生(美方)
	2位	小堀紗津希(美方)
	3位	伊藤 藍子(啓新)
	4位	加藤 理花(武生)



平成二十年度 第四十六回

北信越高等学校剣道大会

平成二十年六月二十日(金)～二十一日(日) 福井県立武道館



平成二十年度北信越高等学校剣道大会が、六月二十日(金)から二十一日(日)の両日、県立武道館で開催されました。本県からは、男子団体に敦賀高校、啓新高校、高志高校、北陸高校の四校と女子団体に美方高校、北陸高校、敦賀高校、丸岡高校の四校が出場しました。六年ぶりの福井県開催もあって、福井県勢は、男子団体に敦賀高校が決勝トーナメント進出、男子個人では丸岡高校の金子亮介選手が二位、美方高校の丸山了可選手が三位に入賞するなど大きな活躍をみせてくれました。

・男子団体決勝トーナメント 一回戦

△敦賀高校 1 - 3 金沢市立工業(石川)

福井県ジュニア育成強化稽古会

福井県ジュニア育成強化稽古会

	月 日	時 間	場 所
1	3月22日(土)	13:30～15:00	越前市武道館
2	4月12日(土)	13:30～15:00	福井県立武道館
3	5月10日(土)	13:30～15:00	越前市武道館
4	6月14日(土)	13:30～15:00	福井県立武道館
5	7月12日(土)	13:30～15:00	越前市武道館
6	8月9日(土)	13:30～15:00	敦賀市武道館
7	9月13日(土)	13:30～15:00	越前市武道館
8	10月11日(土)	13:30～15:00	敦賀市武道館
9	11月8日(土)	13:30～15:00	越前市武道館
10	12月13日(土)	13:30～15:00	福井県立武道館
11	1月10日(土)	13:30～15:00	越前市武道館

福井県剣道連盟長期構想に伴い、二順目福井国体の強化を図るため、本年二月十一日(祝) 福井県立武道館において、第二回福井県ジュニア育成強化剣道大会を開催し、本大会の各学年・部門に入賞した(ベスト4) 選手等を招集し、毎月第二土曜日、越前市武道館、福井県立武道館、敦賀市武道館を稽古会場に本年三月から翌年一月までの間(十一回)、ジュニア育成強化稽古会を開催することとした。

講師には、福井県剣道連盟少年剣道専門委員会 堤腰 昭委員長及び同委員十四名が中心となって指導に当たっている。



選抜された選手は、二年生の部、三・四年生の部、五・六年生の部に分け、選手等一人一人が高い目標をたて、その目標に向けて稽古に励んでいる。

同連盟少年剣道専門委員会の事業の方向としては、全国レベルの技量を目指して選手の成長と発達に対応しながら、その可能性を最大限に引き出すために、少年剣道段階からの選手発掘、育成及び強

化の統一した方針を策定している。稽古会の日程については、次のとおりですが、都合により日時・場所等を変更する場合があります。



(松田久三郎記)

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

松岡少年剣道教室

松岡少年剣道教室は昭和四十八年に始まり今年で三十五年目を迎えました。主

な活動場所は松岡小学校校体育館で稽古日は毎週月曜日、木曜日の午後七時から九時までです。現在の団員数は一年生から六年生まで男女合わせて十三名と小数がすが内容の濃い練習に励んでいます。毎



代表 竹村 哲郎  
 指導者 小林 憲治  
 内藤 有彦

回の稽古としては基本練習を中心として大きな声を出して元気のある剣道を目指しています。団旗にも「活気」という文字を染め抜き目標としています。試合に出場してもなかなか勝てませんが試合のほかの剣道のことので大切なこと、礼儀、ものを大切に、友達同士のつながりなどを学ばせています。現在の悩みは団員が少ないことから稽古場所である体育館が大変広く感じられることです。そのため松岡地区以外からの団員の加入も歓迎します。現在の目標は、七月に行われる福井市少年剣道練成大会に向かって団員一丸となって稽古に励みたいと思いません。

立待スポーツ少年団剣道教室は、昭和五十四年に創立し、今年で三十年目です。子供達は団旗に掲げた「真剣」のもと、一生懸命稽古に励んでいます。創立当初は八十名もの子供達が、吉田利信先生のご指導の下、元気に稽古をしていたと聞いていますが、現在では団員も少なくなってきました。そこで昨年からは、毎週月曜日に隣地区の吉川スポーツ少年団剣道部と合同稽古を行い、お互い良い刺激となるように取り組んでいます。



稽古場所 鯖江市立待体育館  
 稽古日 月 午後六時四十五分～八時半  
 水・金 午後七時～八時半

立待スポーツ少年団剣道教室

ヒューマン&クリエイション

# EYOTEC

アイテック株式会社

武道具一式取り扱い

## 桜武道具店 武陵館 中嶋道場

代表 中嶋 多希雄

鯖江市本町1丁目4-3 TEL 0778-52-0969



練習は、基本を中心としてやっています。大きな声を出して、大きく真っ直ぐ竹刀を振って打つように指導しています。基本をしっかり繰り返すことによって、いろいろな技を身に付けられるように、また、これから先もずっと剣道を続けていってくださるように、指導者一同、子供達とともに稽古に励んでいます。

指導者名 藤田 雄治

上山 亮二

古河 公代

木下 寛隆

松田 充弘

(記 上山 亮二)

**神明スポーツ少年団剣道部**

私達、神明スポーツ少年団剣道部の紹介をさせていただきます。前身は、昭和三十四年に鯖江市中央中学校で小学生を中心に剣道の練習が始まったことと言われ、昭和四十七年に現在の神明スポーツ少年団剣道部が創立し三十六年目を迎えました。毎週月、木曜日の午後七時より神明小学校体育館で稽古をしています。発足当初の指導者であられた故朝井清泰先生の教えを次世代の子供達に伝えるにあたり、現在では小山裕生先生他三名の指導者と部員九名で基本稽古を中心に稽古に励んでいます。剣道をする子供達が少な

くなってきたようですが、昔は部員が百名を超す頃もあり、素晴らしい成績をあげることもありました。最近では、なかなか満足する成績を収めることが無いのですが、剣道を通じて心身を鍛え、勝敗だけにこだわることなく、感謝と思いやりある心豊かな子供に育つよう指導に取り組んでいきたいと思えます。今後とも皆様のご指導、ご声援のほどよろしくお願い致します。

(記 徳本 英基)



鯖江市剣道連盟の御発展と御成長をお祈り致します

HOKURIKU CHEMICAL CO.,LTD.

**北陸ケミカル株式会社**

代表取締役 埴 多津夫

〒916-0016

福井県鯖江市神中町2丁目605番地32

TEL 0778-53-1181

FAX 0778-53-1163

**がんばれ!! 少年少女剣士**

勝前不負  
**鯖江泰成館道場**

練習日

毎週 月曜日 片上小学校

毎週 金曜日 中央中学校

## 王子保スポーツ少年団剣道部

昭和五十年に発足して、今年で三十三年目になります。越前富士霊峰日野山を望む越前市街J王子保駅周辺の王子保小学校と、武生第六中学校の体育館で週二回、金曜日と日曜日に練習をしています。

指導者は、八十三歳になる小泉宗之先生をはじめ、発足以来より続けていただいている三人の先生と他、五人がいます。小学生の部員が六人しかいない今年度は、中学生や高校生の部員を合わせても、



指導者が全員揃えば、圧倒した雰囲気になります。

練習内容は、基本打ちを主にしています。時には剣道の「厳しき・忍耐」を知ってもらおう為に、激しく涙が出る様な練習もありますが、中学校・高校と部活動が続けられる様に個性を活かして、伸び伸びと形に囚われない練習を心掛けています。

部員数が少ないので、育成会の方々は色々な面で負担をかけていますが、年間行事として、寒稽古・夏の合宿・クリスマス会・他レクレーション等をしています。練習以外の活動で、子供達が自己主張を思いっきり発揮する姿は観ている方も楽しいです。

剣道は、『礼節』を重んじます。練習の時の挨拶だけではなく、普段の生活のなかでも率先して挨拶が出来るように、皆で心掛けて頑張っています。

(井上 竜義記)

## 剣誠館剣道スポーツ少年団

稽古場所 若狭町三方B&G海洋センター

活動日時 毎週木曜日

一・二・三年

午後七時十五分～八時十五分

四・五・六年

午後七時十五分～九時

福井県剣道連盟の更なる御発展と  
少年少女剣士の御成長をお祈り致します

エム・ネットワーク株式会社  
M・Network co., Ltd.

代表取締役 埴 多津夫

〒916-0016

福井県鯖江市神中町2丁目605番地32

TEL 0778-53-1161

FAX 0778-53-1163



指導者 吉田 淳夫・石田 宏  
 吉村 勝三・頭庄 大介  
 江戸 啓恵・神田 麻美

剣誠館は旧三方町第三小学校下の児童を対象として、昭和五十三年に設立された剣道教室です。当時は学校教育と社会教育とが一つとなった形で、事務局を学校の担当教員が受け持ち、指導を担当教員と校下地域の連盟会員が行っていました。旧三方町では剣道が町技とされていたことから、町内の小学校にはそれぞれ剣道教室があり、学校の授業の一環として取り組んでいました。故小堀源治郎町長の御努力により、B&G三方海洋セン



ターが建立され、当剣道教室の道場を小学校の体育館から海洋センターのアリーナと武道場に移すことになりました。このように剣道教室が専用の道場で稽古ができるといった恵まれた環境のもとで活動しています。

設立当初から「礼法、基本動作を大切にし、中学校・高校・大学・社会人と成長しても剣道が続けていく子」を目指して指導に当たっています。週一回の稽古で時間的には少ないのですが、稽古時間の三分の二程を足捌き、素振り、基本技、懸かり稽古と充実した内容にと心がけています。子ども達も苦しい稽古を頑張ろうと励まし合い、意欲的な稽古をしています。また、三方地区剣道連盟の稽古日には、高学年の子ども達も参加するようになり、多くの先生方に指導を受けることができ、尚一層の意欲を見せています。

現在の会員数は三十二名です。昨今の児童数減少の中で、これだけの子ども達も剣道を志してくれることを本当に嬉しく思います。文武両道をとおして思いやりのある、精神力の強い人間に育ってくれることを願い、保護者・指導者が協力しながら活動を続けていきます。

(吉田 淳夫 記)

## 武生工業高校

本校は、六戸部信淳先生・金島八郎先生のご指導のもと、昭和四十八年に団体・個人でインターハイ出場、四十九年にも個人で出場を果たすなど輝かしい歴史があります。しかし近年は少子化・生徒減に伴い、やっと団体戦を組めるという状況です。入学時、経験者に声をかけても「違う部に入ってみたいので」と断られることも少なくありません。

現在部員は、一年二人、二年二人、三年三人の計六人です。春季総体後三年生が引退したので、今は四人で活動しています。少人数のため学年の垣根もあまりなく、部内は明るい雰囲気です。稽古は



放課後約一時間。基本稽古・時間を区切った互角稽古・掛かり稽古を中心に、週に一回、各自筋トレ・ランニングをしています。昨年の春季総体では、くじ運にも大いに助けられ、四人のチームではありましたがベスト8に入ることができました。

本校では「三年間部活を続ける」ということを目標としています。資格取得に向けて補習を受けたり、他の活動(ダンス等)に参加したりする生徒もおり、全員が揃って稽古を始められることは週に一、二回です。ですから、少ない人数の中でやれることは何かを考え、与えられた状況でベストを尽くす「自覚と自律」の精神を身につけながら部活動を継続させたいと考えています。

私も剣道を通して一生の友を得、恩師からは挨拶や礼儀など人生の中でとても大切なことを教えていただきました。生徒にも剣道が続ける中で様々なことを学んで欲しいと思っています。正顧問になって五年目、今後とも先生方にはご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

(斉藤 悦子 記)

### 福井県警察機動隊剣道部

県警機動隊剣道部は、部員数十名で、通称「剣道特別訓練員（以後特練員）」と呼ばれています。この特練員は福井県警察官の中でも剣道に優れており、警察本部長から任命され、全国警察官大会等の福井県警察の代表選手として指名されているものです。

また、これまでに特練員の中から、全日本剣道選手権大会や国体等、数多くの福井県代表選手を輩出し、輝かしい実績と伝統を築いております。

通常は、治安維持確保のために、犯人の制圧・逮捕、各種救助活動等の訓練を行い、またそれらに必要な気力、体力を剣道訓練で養っています。剣道訓練は毎日約一時間実施し、全国警察官大会等前は、特別訓練期間として終日、県立武道館小道場や警察学校体育館で行っています。

現在、堀江範雄剣道師範の指導の下、誇り高い伝統ある当剣道部で、剣道訓練ができる幸せを感じながら、日々厳しい訓練に励んでおります。

特練員にとって一番の目標は、全国警察官大会での上位入賞です。大会は各都道府県警察を代表した特練員が日本武道館に集まり、「警察剣道はプロの世界」と呼ばれるように、県警の名誉とプライ

ドをかけたハイレベルの試合が繰り広げられます。この大会のために一年間、特練員は訓練のみならず、県剣道連盟主催の合同稽古会や各地区の稽古会に参加し、実力を高めさせて頂いております。

また、県内警察官の剣道指導者として、剣道の理念や礼儀作法を学び、正しい剣道の習得と指導にも取り組んでおります。特練員は、これまで先輩方が築かれてきた伝統を継承し、さらに剣道のプロとして精進していく所存ですので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

#### 〈年間行事〉

- 二月 都道府県大会予選
- 四月 国体予選
- 六月 北陸三県警察剣道大会
- 福井県剣道選手権大会
- 七月 中部管区警察剣道大会
- 九月 全国警察剣道大会
- 福井県剣道大会
- 十月 全国警察剣道選手権大会

(竹内 健記)



### 剣道 称号段位合格者

#### 剣道段位審査会

平成二十年四月三十日(水)

京都市立体育館

#### 〔七段〕 一名

松 永 毅(坂井地区)

平成二十年五月十日(土)

名古屋市枇杷島スポーツセンター

#### 〔七段〕 二名

森岡 裕 一(越前地区)

半田 隆 三(坂井地区)

平成二十年五月十一日(日)

名古屋市枇杷島スポーツセンター

#### 〔六段〕 二名

竹下 昌 文(福井地区)

小林 憲 治(福井地区)

平成二十年五月十一日(日)

福井県立武道館

#### 〔初段〕 一一六名

楠田 和 未(藤島中)

井根口 智 大(小浜第二中)

城野 優 生(武生第二中)

武川 貴 史(坂井中)

板倉 大 峻(松岡中)

水口 侑 也(大東中)

戸島 拓 哉(中央中)

- 成瀬 博之(小浜第二中)
- 小林 賢哉(今庄中)
- 松倉 将太(坂井中)
- 高鳥 純平(小浜第二中)
- 渡邊 政仁(足羽第一中)
- 堀田 遼(明道中)
- 半田 宇宙(芦原中)
- 関根 健太(今庄中)
- 市橋 友樹(南越中)
- 元 矢隼人(丸岡中)
- 諸山 雄樹(小浜第二中)
- 有馬 尚史(池田中)
- 伊藤 正紘(坂井中)
- 竹下 享介(大東中)
- 市橋 諒(気比中)
- 森長 剛志(藤島中)
- 辻岡 実智(池田中)
- 宮本 隆史(栗野中)
- 三國 晃平(栗野中)
- 林 篤紀(中央中)
- 渡辺 翔太(武生第二中)
- 小笠原 亨(松陵中)
- 石井 康太郎(永平寺中)
- 安井 公亮(武生第二中)
- 梶山 太一(永平寺中)
- 藪 智仁(明道中)
- 田中 昂平(角鹿中)
- 古市 慎也(坂井中)
- 松島 勇武(松岡中)
- 金本 光平(丸岡中)
- 渡邊 拓哉(南越中)
- 小林 俊太(坂井中)

稲垣和彦(成和中) 藤原瑛司(若狭高) 酒井大拓(中央中) 吉川大介(至民中) 山本航(三国中) 山本章人(松陵中) 平田亘(森田中) 吉田正輝(南越中) 宮浦秀明(足羽第一中) 伊藤亮(坂井中) 大越智貴(中央中) 伊藤翔司(大東中) 窪田英晃(今庄中) 池田光希(武生第二中) 堀井誠司(中央中) 山本真也(気比中) 谷口貴大(丸岡中) 青木俊介(足羽第一中) 前田龍輝(気比中) 北川真司(大東中) 西村智史(今庄中) 小玉啓太(南越中) 早瀬佳祐(足羽第一中) 林秀朔(大東中) 川谷康二(福井大学附属中) 重根椋(森田中) 宮崎大芽(三国中) 河村順平(清水中) 小寺健太(明道中) 佐近拓也(小浜第二中) 坂井貴之(丸岡中) 寺尾涼(藤島中)

多田有希(藤島中) 石川颯希(鯖江中) 田谷凜太郎(丸岡南中) 福岡知美(丸岡中) 佐々木将紀(武生第二中) 荒木智香(丸岡中) 湯口幹太(至民中) 高柴安里(明道中) 吉澤公一(丸岡南中) 吉崎友梨(鯖江中) 齋藤展人(中央中) 川合菜月(三国中) 土田克哉(今庄中) 中島由佳(森田中) 若松大祐(明道中) 元矢友里恵(丸岡中) 松下智紀(丸岡南中) 松島安希(明倫中) 西田翔(丸岡中) 河瀬涼香(角鹿中) 中川陽介(丸岡南中) 荒木穂乃香(越前中) 上出彰馬(成和中) 牧野綾佳(丸岡中) 西野光流(朝日中) 土手美里(気比中) 植原靖裕(成和中) 柳原有花(森田中) 歌門佑斗(今庄中) 齊藤加奈子(大飯中) 西井良(丸岡南中) 今井仁志(三方地区)

前川拓也(清水中) 玉村仁美(成和中) 中野慎也(成和中) 細田愛里(金津中) 中谷勇紀(三国中) 野村沙加(清水中) 三崎雅斗(成和中) 平本みな(足羽第一中) 高木俊輔(明道中) 高橋佐也(金津中) 川猿一夢(三国中) 原誠二(高志高) 中嶋佑昌(清水中) 藤本遼太(美方高) 安井裕介(成和中) 森嶋裕也(北陸高) 西前貴俊(三国中) 田中楓子(森田中) 小中裕生(武生第二中) 小林美紀(松岡中) 小玉祐(至民中) 加藤里奈(明倫中) 三橋佑介(明道中) 松林祐衣(至民中) 北出隼太郎(坂井中) 柳澤薫(森田中) 勝見源旗(森田中) 荒木美咲(金津中) 飯田紘己(南越中) 竹澤早也香(松岡中)

〔武段〕 三十三名

笹木教隆(坂井地区) 岡田恵子(坂井地区) 小堀友廣(三方地区) 高野修一(坂井地区) 山下篤史(越前地区) 小西規代(福井地区) 高野規一(坂井地区) 増田成美(武生第二中) 高倉潤(三国中) 堀晴菜(清水中) 黒川大介(三国中) 野村江里(福井高) 田島一希(清水中) 山崎貴絵(北陸高) 鈴木翔大(大野東高) 野崎里砂(福井高) 山本崇博(勝山高) 小木ありさ(藤島高) 夏井洋和(藤島高) 松井友紀(福井高) 谷口浩一郎(武生東高) 大南由衣(福井商業高) 齊藤寛貴(藤島高) 井上恭男(坂井地区) 伊藤藍子(啓新高) 後藤田勝英(敦賀地区) 田中更幸(啓新高)

〔参段〕 四名

〔四段〕 四名

〔五段〕 二名





# 女性剣士の部屋



岡田 恵子

私が剣道を始めたのは中学一年の時です。中学では、部員だけで和気藹々と稽古していた。高校では山本由雄先生・西川 譲先生に厳しく指導していただきました。高校卒業後、剣道から離れていましたが、再開のきっかけはふと目にした武道学園受講生募集の新聞記事でした。十年近いブランクがあり、体力に不安がありました。受講してみると、杉浦正人先生、松田実先生、学園の皆さんのあたたかい励ましのおかげで楽しく稽古することができました。

結婚・出産後も主人の理解と協力のおかげで剣道を続けることができ、家庭婦人大会にも出場させていただきました。試合会場で二人の子供の子守をしながら応援してくれた主人には感謝しています。

主人の協力があっても、子供が幼いうちは思うように稽古できません。どうしても稽古がしたくて、子供を無理に夜の稽古に連れていったこともありましたが、帰る頃に子供は道場の隅で爆睡しており、無理はいけないと痛感しました。子供が成長し、昨年四月から剣道を始めたので、一緒に稽古するという楽しみができました。また、「お母さん、稽古行ってきね。僕ら留守番しているで。」という子供の協力もあり、錬成会や講習会に参加出来るようになりました。

私が剣道が続けられるのは、主人や周りの皆さんのおかげと感謝しています。無理せず、怠けず稽古を続けていきたいと思っています。

## 行事予定

### 八月

- 二日(土)～四日(月) 第五十五回全国高等学校剣道大会 越谷市
- 三日(日) 第二十一回福井県居合道大会 県立武道館
- 五日(火)～六日(水) 第二十九回北信越中学総体 石川県
- 九日(土) 剣道 七段審査会 栃木県
- 九日(土)～十日(日) 県民スポーツ祭 (土・高校) (日・一般) 県立武道館
- 十日(日) 剣道 六段審査会 栃木県
- 第五〇回全国教職員剣道大会 愛媛県
- 十五日(金) 第四十一回奥越剣道大会 大野市
- 十七日(日) 剣道段位審査会 敦賀市
- 二十一日(木)～二十三日(土) 第三十八回全国中学剣道大会 砺波市
- 二十三日(土) 県教職員剣道大会 鯖江市
- 二十四日(日) 剣道 六段審査会 福岡県
- 二十四日(日) 第二十九回北信越 国民体育大会 新潟県

### 九月

- 二十四日(日) 第三十七回福井県少年少女剣道錬成武生大会 越前市
- 七日(日) 第四十七回全日本女子剣道選手権大会 藤枝市
- 七日(日) 全剣連講習会審判法 県立武道館
- 十三日(土)～十四日(日) 第三十五回居合道中央講習会 京都市
- 十四日(日) 第五十四回全日本東西対抗剣道大会 岡山県
- 十四日(日) 第三回全日本都道府県対抗少年優勝大会 大阪市
- 二十一日(日) 剣道指導者講習会 敦賀市
- 二十一日(日) 合同稽古会 敦賀市
- 二十三日(火) 第五十六回福井県剣道大会 県立武道館
- 二十八日(日) 居合道伝達講習会 県立武道館

福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください。  
宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎  
メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL (0776) 28-6616